

講話:信仰のセンス (ラテン語:sensus fidei)について

京都司教 +パウロ大塚喜直

- * 信者の総体の信仰のセンス sensus fidei fidelium
- 信者個人の信仰のセンス sensus fidei fidelis
- ここでは、信者個人の信仰のセンスを扱う。

1. 信仰のセンスの2重の意味

① 「能力」としての信仰のセンス

聖霊が与える感覚、力、可能性、能力。

聖霊によって与えられた、神からの霊的な事柄を感じる能力。

洗礼を受けた人が持っている。(これは、キリスト信者以外にある聖霊の働き否定しない)

信者が神からの救いへの働きかけを感じ取り、受け入れる能力。

日々の生活の中で、神、キリストの永遠の救いについて、自分なりの考えを見出す能力。

聖霊において、キリストを通して、生活の中で、手を差しのべる神を「理解する」想像的能力。

啓示(神が自らを啓示する)の理解、解釈、適用は、この力によって可能となる。

② 「理解」としての信仰のセンス

信仰のセンスは「能力」と同時に、神の啓示について各人が理解して得る「意味」も、信仰のセンスである。これは、人がそれを他者に表現するとき、信仰の知識として顕になる。

2. 信仰のセンスは、「信じる信仰」(神の自己伝達に対する個人の応答とみなされる信仰)と、「信ずべき信仰」(教会が教える信仰内容への「同意」としての信仰)の間の、「理解の解釈学的循環」から生じる。
3. 信仰のセンスによって自覚される神との出会いは、同時に救いの体験である。
神と出会いはその人に救いをもたらす。
信者は、キリストにおいて、「啓示」と「救い」を経験する。
これは、個々人によって、具体的、かつ独自のである。
4. 信仰のセンスは、「福音の力」が、日々の生活のなかで、社会生活で輝くようにする。
これが、信仰の証となる。(教会憲章35) 信仰のセンスは、個人の生き方であらわされる。

信仰のセンスの11の特徴

1. あなたは神の「何」を信じているのですか? 【1. 信仰の「人格的」センス】
神からの呼びかけに応え、神の愛とあわれみを信じる。
キリストとの出会いを通して、聖霊のうちに、父なる神に自分の存在を託す。

2. あなたはいつも神からの招きを感じていますか？ 【2. 信仰の「発見的」センス】

神は、人間に、聖霊から来る信仰を感じる能力を与える。
神の招きをいつも注意深く、真剣に受け止める。

3. あなたは見えない神に近づいていますか？ 【3. 信仰の「認識的」センス】

神の働きを、現実の中で、言葉やしるしなどの目に見えるしるし（象徴）を通して、目に見えない神に近づく。信仰のセンスは、「見えないものを見る」想像力。「心の目」。

4. あなたの信仰にキリストが「いますか」？ 【4. 信仰の「キリスト論的」センス】

キリスト教信仰は、キリストをぬきに有り得ない。
栄唱の「キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに」の三つの点。

■キリストに「よって」

キリスト教信仰は、キリストに「よって」、父である神を認めるもの。

■キリストと「ともに」

キリストと「ともに」、父なる神を信じ、自己をゆだねる。

■キリストの「うちに」

神である聖霊によって、キリストに結ばれて生きる。

5. あなたの信仰はミサが中心になっていますか？ 【5. 信仰の「秘跡的」センス】

人の目に見えないキリストとの出会いをミサにおいて体験し、目に見えない恵みの「見えるしるし」になるよう、信仰生活がミサを中心に正しく、また熱意をもって営まれているか。

6. あなたの信仰は生活に反映されていますか？ 【6. 信仰の「実践的」センス】

「信仰と生活の遊離」に気をつけなければならない。信仰を生活に当てはめる。
フィリピンやラテン・アメリカの国々のように、カトリック信仰が歴史的に根付いた国から来ている信徒から「身についた信仰」を学ぶ。

7. あなたの信仰は神からの平安を生きていますか？ 【7. 信仰の「救済的」センス】

信仰は、人生に座標軸のようなものを与える。「信仰の試練」の中で、神に希望をおく生き方となっているのでしょうか。

8. あなたの信仰は人生の物語となっていますか？ 【8. 信仰の「統合的」センス】

信仰は、私と現在を紡ぎ、人生を意味のある物語に統合する。
神は、「私の人生」という「物語」において、ご自身を顕してくださる。
困難な現実を受け入れ、死からの解放の「約束」を信じ、生きる力を得る。

9. あなたの信仰は独りよがりではありませんか？ 【9. 信仰の「批判的」センス】

自分の信仰は、自己満足と独りよがりの慰めを求めているか？
信仰表現は常に福音的識別を受ける必要がある。

10. あなたは信仰を仲間と生きていますか？ 【10. 信仰の「共同体的」センス】

キリスト教信仰は、「ともに信仰する」ことによつてのみ可能。
信仰共同体の交わりで、信仰がさらに強められ、深められる。

11. あなたの信仰はキリストの霊に仕えるものですか？ 【11. 信仰の「聖霊論的」センス】

教会は、キリストのからだである教会の成長のためのものであり、「教会を生かすキリストの霊に仕える」もの。